

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより

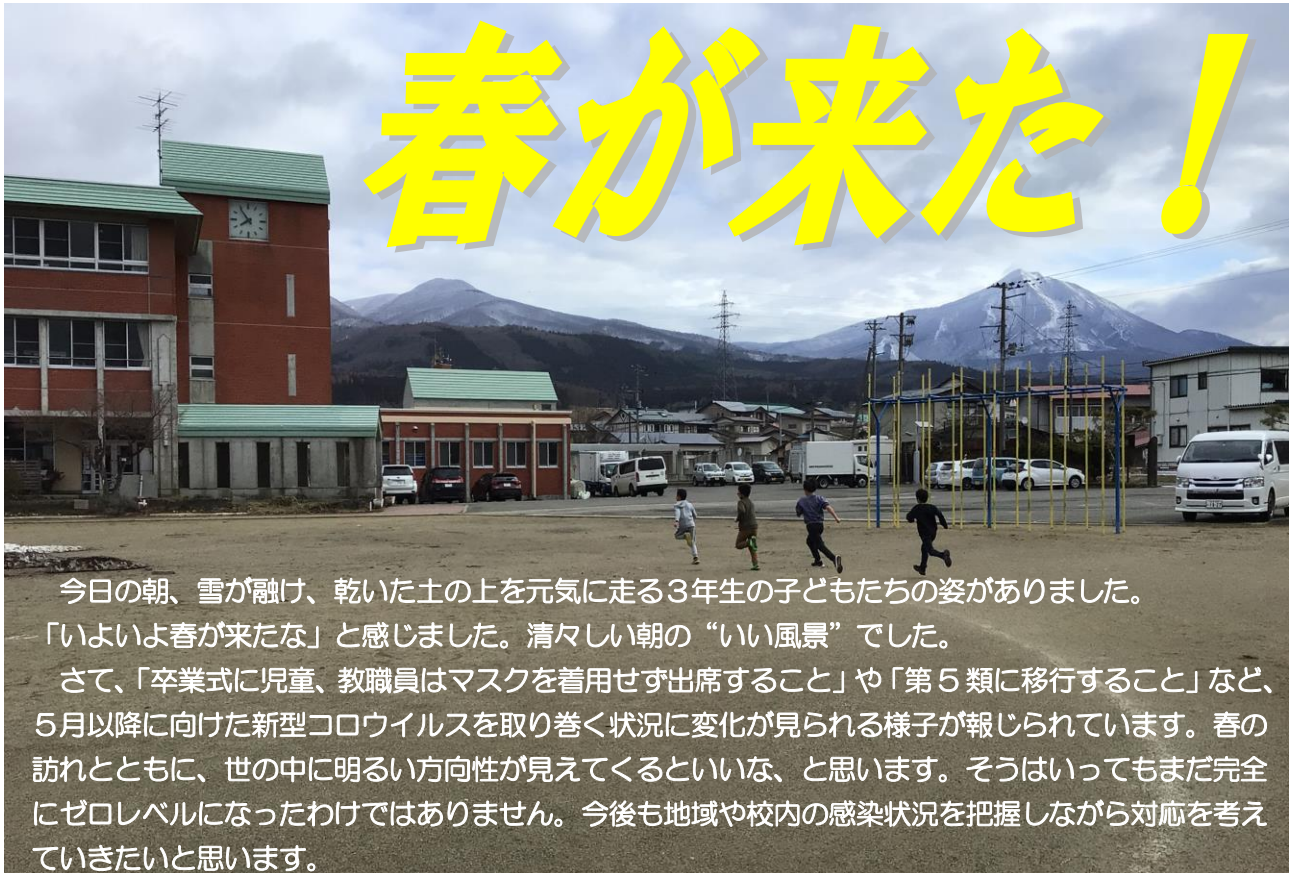
NO. 106

R5. 3.14

(文責:校長 菅家 篤)

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

春が来た!



今日の朝、雪が融け、乾いた土の上を元気に走る3年生の子どもたちの姿がありました。

「いよいよ春が来たな」と感じました。清々しい朝の“いい風景”でした。

さて、「卒業式に児童、教職員はマスクを着用せず出席すること」や「第5類に移行すること」など、5月以降に向けた新型コロナウイルスを取り巻く状況に変化が見られる様子が報じられています。春の訪れとともに、世の中に明るい方向性が見えてくるといいな、と思います。そうはいつてもまだ完全にゼロレベルになったわけではありません。今後も地域や校内の感染状況を把握しながら対応を考えていきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症が初めて国内に入り込み、日本中、世界中が対策を始めたのが3年前です。当時全国一斉に学校が休校になり、その間の学習や体力づくりについてご家庭に様々なお願いをしました。以来この3年間は密を避けることや換気をすること、マスクを着用することなど、絶えず留意し心がける必要がありました。もうすぐ卒業する6年生は、小学校生活の実に半分をコロナ禍で過ごしたことになります。制限されたり形を変えたりせざるを得ない部分も多かったのですが、そのような中でも28人はその時そのときにできること、やるべきことにしっかり取り組んできました。私が出会ったのは1年前でしたが、今、6年生の子どもたちは見違えるほど大人になっています。

磐梯一小での出会いに感謝



学校だよりも本号で106号の発行となりました。ふと私が思ったことをお伝えしたいと思います。

クランボルツという著名なキャリア心理学者の調査によれば、人生で本当の成功や幸福を手にした人の多くはこう言うそうです。

「私の成功のうち、努力が占める要因は、わずか2割。残りの8割は、いい方々との出会いによるところが大きい」「あの時、たまたまあの人とのご縁があったから、この仕事が成功したんだよなあ」と。そして、真の成功者の多くが、こうした「人生に幸福をもたらしてくれる出会い」に心を開いて、自ら積極的に求めていった、ということです。「いいこと」につながるような「いい出会い」に心を開いておくこと。これが幸福な人生を生きるための秘訣なのだそうです。

私は1年前の春に磐梯一小の子どもたちと出会い、そして保護者の皆様に出会いました。その出会いこそが、「子どもたちの様子を伝えたい」、「自分の思いを届けたい」という幸福のエネルギーとなって、学校だよりを発行してきました。子どもたちと保護者の皆様との出会いに感謝です!